

# 高知県産業振興計画の推進によって実現

## 第2期計画ver.3の取組

現状

H24

H25

H26

H27

木材・木製品製造業出荷額等150億円(H22) ↓ 160億円(H24)※  
 原木生産量40.4万立方メートル(H22) ↓ 46.5万立方メートル(H24)

### 原木生産

- 森林の集約化と経営委任の推進
  - ・森林経営計画と森の工場の整備
- 地形や地質にマッチした効率的な生産システムの導入を促進
- 皆伐による原木の増産
- 大型製材工場や県内製材工場等への原木の安定供給システムの構築
  - ・協定取引の推進
- 森林組合の経営力強化
- 自伐林家等による生産を促進



### 加工体制

- 大型製材工場等の施設整備の促進
  - ・大型製材工場による製材品の生産拡大
  - ・単板工場の整備計画の検討
- 県内事業者による大型製材工場整備
  - ・ビジネスプランの作成、工場の整備
- 既存事業者の加工力の増強を推進
  - ・乾燥施設等の新設及び増強
- CLT（直交集成板）の推進
  - ・CLT建築物の普及・建設の促進
  - ☑ CLTパネル工場の整備検討・誘致



高知おおとよ製材



日本初のCLT建築物  
 (高知おおとよ製材社員寮)

### 流通・販売

- 大消費地に設置した流通拠点を活用した土佐材流通量の拡大
- 県外販売の窓口を一元化し、製品の安定供給を促進
  - ☑ 内航船を利用した大規模輸送や乾燥等の共同事業の実施
- 大消費地への販路拡大
  - ・消費地商談会や展示販売会の実施により、土佐材の知名度アップとロット販売量を増加
- 品質が確保された製品の安定供給体制を確立
- 県産材を利用した木造住宅への支援
- 公共事業や公共施設等での県産材の利用推進



土佐材の流通拠点

### 木質バイオマス

- 原木や林地残材の搬出に対する支援
- 木質バイオマス燃料の安定供給
- 木質バイオマスボイラーの改良及び低コスト化
- 幅広い分野での木質バイオマス利用を促進
- 燃焼灰の適正処理
- コスト差を埋める支援の仕組みの検討
- 推進体制の強化
- 木質バイオマス発電の推進



木質バイオマスボイラー

※H24の数値については、「平成24年工業統計調査」の速報(従業員4人以上の製造事業所、高知県独自集計分)によるため、詳細な分析については確報を待つ必要がある。

# を目指す本県産業の姿 林業分野

4年後の目標  
(H27年度末)

さらなる飛躍  
へのポイント

10年後の目指す姿  
(H33年度末)

～山の資産価値を  
アップ、中山間  
の雇用を確保～

- 立木の資産価値  
20%アップ(H22年比)
- 担い手数  
1,732人(87人増)

～木材の付加価値  
を高める～

- 製材品の生産量  
30万 $m^3$ (30%増)

～県外市場での  
認知度の向上～

- 県産材製品の県外  
出荷量  
22万 $m^3$ /年(70%増)

～県内での県産材  
利用が拡大～

- 戸建て住宅の木造率  
全国平均以上

～森林資源を生かし切り  
木の価値をアップ～

- 木質バイオマス  
利用量  
40.3万トン(78%増)  
(金額換算:28億円)

○森林の集約化を  
一層推進

○作業システムの  
改善による原木  
生産の効率化

○単板工場の誘致

○製材工場の効率  
化・高品質化を進  
め、競争力を強化

○CLTの推進

○県外への流通・販  
売システムのさら  
なる強化

○土佐材の知名度  
の向上による活発  
な取引

○木質バイオマスを  
低コストで大量に  
収集するシステム  
づくり

立木の資産価値  
30%アップ  
(H22年比)

担い手数  
1,756人

製材品の生産量  
35万5千 $m^3$

県産材製品の  
県外出荷量  
26万 $m^3$

戸建て住宅の  
木造率  
四国No.1

木質バイオマス  
利用量  
53万トン  
(金額換算:41億円)

木材・木製品製造業出荷額等 190億円以上を目指す  
原木生産量 72万立方メートル以上を目指す

木材・木製品製造業出荷額等 200億円以上を目指す  
原木生産量 81万立方メートル以上を目指す  
山で若者が働く、全国トップ3の国産材産地